

医療・介護経営定例セミナー(大阪)

地域共生社会の実現に向けて

かつて我が国では、地域の相互扶助や地域・家庭・職場といった生活の様々な場面において、支えあいの機能が存在しました。しかしながら、現在では高齢化や人口減少が進みこれまでの基盤が弱まっています。また、2040年には団塊の世代が90歳以上になり、以前の社会構造ではシステムとして、破綻してしまいます。これらを解決するために国は「誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らせる地域づくり」をするために「地域共生社会の実現」を目指しています。今回のセミナーではその「地域共生社会」の在り方とその実現に向けて、事業者が担うべき地域での役割と今後に向けた対応策について解説をいたします。多くの方からの参加申し込みお待ちしております。

日時：令和2年1月24日(金) 14:00~16:40 (受付13:30~)

場所：大阪府男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)4F 大会議室3(別紙参照)

参加費：10,000円(お一人様)

第1部 14:00~15:30

「2040年を目指す、医療・介護・福祉政策の転換=地域共生社会への対応」

講師 一般社団法人 全国地域医業研究会 理事 駒井 良理

- ① 現状政策の限界、縦割りからの脱却、政策転換とは
- ② 地域共生社会実現の実行者は誰か
- ③ 地域共生社会における医療・介護事業の経営的対応について

駒井 良理(税理士・行政書士・宅地建物取引士)プロフィール

1983年 専修大学 法学部卒

1987年 税理士登録

2009年 税理士法人駒井会計事務所 代表社員

2015年 全国地域医業研究会の一般社団法人化に伴い、理事に就任 現在に至る

第2部 15:40~16:40

「医療・介護・福祉の一体提供、地域共生社会における在宅医療の果たす役割」

講師 東京大学 大学院 医学系研究科 在宅医療学講座 特任准教授 山中 崇 先生

- ① これからの医療ニーズ
- ② 地域を基盤とする包括的支援体制の構築
- ③ 地域共生社会における在宅医療の役割

山中 崇 先生(医師)プロフィール

1989年 高知医科大学卒業、東京女子医科大学附属第二病院内科研修医

1997年 東京女子医科大学附属第二病院在宅医療部助手、1998年 同 講師

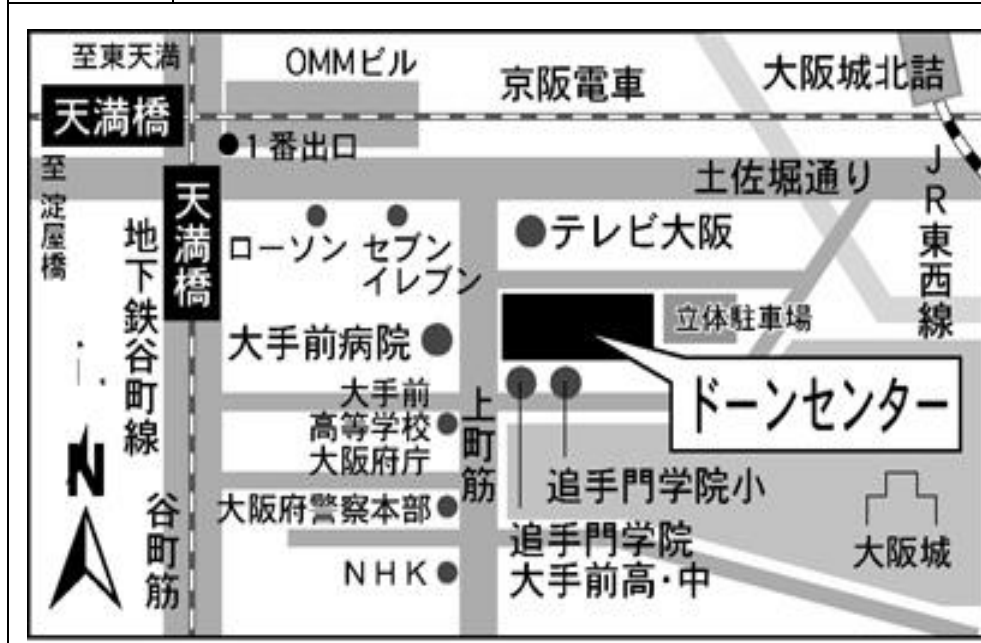
2007年 東京女子医科大学東医療センター在宅医療部准教授

2014年 東京大学医学部在宅医療学拠点特任准教授、2018年 現職

日本在宅医療連合学会理事・研究委員会委員長、日本老年医学会代議員

医療・介護経営定例セミナー(大阪) 参加申込書

【日時】	令和2年1月24日(金) 14:00~16:40 (受付 13:30~)
【参加費】	10,000円 (お一人様/税込)
【会場】	大阪府男女共同参画・青少年センター ドーンセンター 4F 大会議室3



大阪府中央区大手前 1-3-49

会場 TEL06-6910-8500

【アクセス】
京阪「天満橋」駅
Osaka Metro (旧大阪市営地下鉄) 谷町線「天満橋」駅

①番出入口から東へ約 350m。

【地図 QR コード】



定員

50名

(先着順)

※ 会場定員等により参加申込受付が終了した場合のみ、参加不可のご連絡をさせていただきます。

※ 資料の準備等の関係上、申込締切までにお申込下さい。

一般社団法人

全国地域医業研究会 担当: 元廣(モトヒロ)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-19-6-4F

TEL 03-6222-8749 FAX 03-6222-8748

※お申込みいただいた個人情報については、セミナー講師、当会会員へ提供する場合があります。また、お預かりした情報は今後のセミナー等の御案内に活用させて頂くことがあります。記入していただきました情報については当会個人情報保護方針に則り、お申込みいただいた方の承諾なく上記以外の第三者に開示・提供することはありません。

申込者記載欄 (各項目とも正確にご記入下さい)

申込締切 令和2年1月16日(木)

御事業所名 (フリガナ)	御出席者名 (フリガナ)
御住所 〒 —	
TEL — —	FAX — —
備考欄	
HP	

お申込先 FAX 03-6222-8748 (全国地域医業研究会)

